

石川の印刷

IPIA

ISHIKAWA PRINTING INDUSTRY ASSOCIATION

CONTENTS

平成31年 年頭挨拶(吉田理事長)
石川県印刷関連団体協議会 新年互礼会
第9回 ポスターグランプリ
中部地区印刷協議会
■平成30年度下期会議開催
■分科会・理事長会報告
VOC 警報機導入補助金のお知らせ
オフセット技能検定試験
DTP 技能検定試験
印刷関連企業情報
第22回 ソフトボール大会
第27回 印刷の月ゴルフ大会
石川県印刷会館 感謝の集い&チャリティー
石川県印刷会館 新築工事地鎮祭
会員短信/事務局日記/今後の予定

発行

石川県印刷工業組合

石川県金沢市玉鉾4丁目160
TEL.076-291-0557
<http://www.ishikawa-pia.jp/>
平成31年(2019年)3月28日発行

NO.

297



～平成31年 年頭挨拶～

石川県印刷関連団体協議会 会長
(石川県印刷工業組合 理事長)

吉田 克也

新年おめでとうございます。
皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられましたことと、心よりお慶び申し上げます。
今年は十二支で言えば「亥年(いどし)」ですが、

十干(じっかん)と言うと「己(つちのと)」ですので、正確には「己亥(つちのとい)」となります。長くなりますので詳細は省略いたしますが、己(つちのと)は、完成した自己や成熟した組織が、それまでの主義、規律、秩序などを見直し、次の段階を目指す準備をする年であり、亥(い)は、個人は知識を増やす、精神を育て、組織は人材育成や設備投資、財務基盤を固める時期だそうです。

まさに、新石川県印刷会館の完成を本年7月に控える石川県の印刷業界に相応しい年だと感じます。私は、この新会館建設に関する活動を通して、「印刷工業組合や印刷会館の存在意義」を組合員企業や関連企業の皆さまと議論できたことは、今後の石川県の印刷業界の発展にとって必ずプラスになると確信しています。さらに、新会館を業界人が気軽に集える場所とすることで、業界人の英知の交流拠点へと成長させ、石川県印刷団体協議会ならびに構成団体の発展に貢献する施設にして行きたいと考えています。また、新会館の建設に当たっては、本日ご出席の皆さまから物心両面において多大な支援を頂戴していることを高い席からではありますが、心より感謝申し上げます。

さて、昨年7月に開催された印刷総合機材展「IGAS2018」では、デジタル印刷機と加工を含めたソリューションが目立ち、デジタル印刷機がオフセット印刷機から主役の座を奪ったような印象を受けました。

いうまでもなく、デジタル印刷機は「版」がありません。木版、石版、活版、オフセット版、グラビア版に至るまで、形は変われども版が必要不可欠でした。つまり、版不要のデジタル印刷機は、印刷の定義や工程を根底から変革させるかもしれない存在なのです。

このように話すと、「デジタル印刷機の時代では、従来のオフセット印刷の時代に培った技術は必要なくなる」と不安を感じる方も少なくないかもしれませんが、しかし、オフセット印刷で培った色調管理技術は、デジタル印刷機でも必要となりますし、プリプレスや後加工は引き続き必要です。新技術が出現したら、しっかりと向き合い、変化しなければいけない部分とそうでない部分の見極めが必要なのです。その際、重要な情報源となるのが本日集まった「石

川の印刷の仲間」です。この互礼会や各種事業参加を通して、信頼関係を醸成し、本音で情報交換できる仲間を増やしていただきたいと思います。

加えて申し上げると、物理的な版、すなわち刷版が不要になったとしても、電子的な版、すなわちDTP組版データは必要です。デジタル印刷機の色調整が簡単になったといっても、オフセット印刷で培った色管理ノウハウが不要になるわけではありません。

その点からも、DTP技能検定の必要性は変わることはなく、印刷技能検定も将来的には形を変えざるを得なくなるかもしれませんが、必要であり続けると確信しています。

一方、本年10月からは消費税率が10%に引き上げられるなど、仕入れコストに神経を尖らせる一年になりそうです。すでに印刷物の主要材料である印刷用紙の価格が1月1日メーカー出荷分から値上がりしていますし、他の機材や材料も消費税アップの影響が懸念されます。印刷需要が盛り上がり欠ける状況下でのコストアップですから、印刷物の受注に悪影響がでないか心配しています。そのような状況下においても「紙の印刷文化」を守っていくために、印刷に関わる全ての人が知恵を出し合っていかなければならないと思います。

全日本印刷工業組合連合会は、印刷に関わるすべての人を幸せにする産業「Happy Industry」として印刷産業を進化させることを目指しています。そして、「Happy Industry」は各社が独立した「Happy Company」となることで実現すると述べていますが、全印工連の事業メニューを活用することで、コストダウンや新サービスの事業化、経営力強化と収益力拡大を図り、それを原資として「雇用環境整備＝働き方改革」につなげることができるということです。

『そんなのは理想論にすぎない』と決め付けないでください。理想の実現は目指すことから始まるのです。印刷産業を「Happy Industry」にして、全員でHappyになりましょう。

人類の発展に貢献した三大発明のひとつに挙げられる「活版印刷」。印刷によって多くの人に情報が伝わることで人類は、現在の繁栄を築いて来ました。いくら時代が変わろうとも、その歴史的事実は変わることがありません。私たちは、その事実を誇りに思い、印刷業を現代にあった形にアップデートし、後世につなげていくためにも、全員でより良い「石川の印刷」を目指す一年といたしましょう。

平成最後の年、新たな時代に向けて石川県印刷関連団体協議会「新年互礼会」が開催される
来賓、会員（石川県内8団体81社などから）総数168名が新春の門出を祝う

石川県印刷関連団体協議会 新年互礼会

日時：平成31年1月5日（土）午後5時開宴
場所：ホテル日航金沢 4階 鶴の間

今年の新年互礼会は、昨年に引き続きホテル日航金沢で開催した。小杉善文専務理事の司会で開会の辞が述べられ、出席者全員による国歌斉唱により始まった。はじめに主催者を代表して吉田克也会長が年頭の挨拶を述べた。（表紙に記載）

来賓の祝辞では、谷本正憲石川県知事、山野之義金沢市長、より祝辞をいただいた。

谷本知事の祝辞では、「新年あけましておめでとうございます。今年もご案内いただき、厚く御礼申し上げます。」との謝意続き次のご挨拶をいただいた。（以下要約）

「吉田会長のお話に、平成最後の今年、印刷会館の建設をスタートするお話がありました。この5月1日より新元号に基づく新たな年がスタートしますが、このようなことは、この200年間なかったことで、偶然とはいえ、そういう時期に印刷会館が新しくスタートを切るというのは、印刷業界にとって、私は喜ぶべき出来事だと思います。また、吉田会長からは、印刷業界の現状等を踏まえたお話もあり、仲間としての絆をより大切にしてい、それが石川県の印刷業界のさらなる発展に繋げるという、尽きることのない前向きな意欲を私は感じ取らせて戴きました。吉田会長のもと、印刷会社の方々が意欲を持って互いにしっかり支え合い、そして切磋琢磨し合いながら、石川県の印刷業界をこれからも大きく伸ばしていただきたいと思います」と願うところでです。

石川県の方も、昨年は、これまでにない勢いのある年でした。小松空港の利用も、新幹線開業当時は3割ほど落ち込みましたが、このところ、客足が増え始めています。また、空港の国際化も進めてきましたが、今年の7月から、夏ダイヤ限定ですが、小松ー香港の週2便の定期便が11年ぶりに就航することになり、小松空港の国際化が大きく前進することになります。当面は香港からのインバウンドが主体ですが、定期便というからには、双方向での交流がなければ維持できないわけです。こちらからも、香港へ出かけて行かなければならないと考えています。印刷業界の皆さん方には、慰安旅行などもあるかと思いますが、その折には、何はさておいても香港を選んでいただくをお願いいたします。

金沢では、新幹線の開業が丸4年になりますが、開業効果は、以前の3倍というレベルを持続しています。これは、JRも驚いているようで、この「地」の魅力が、首都圏を含めた全国に評価され、その証が開業効果の持続に繋がっていると思います。そして、地味な調査ですが、石川県を取り上げたテレビ番組の数は、平成26年は52本。そして新幹線が開業した27年は313本、28年は251本、29年は305本。30年は、11月末で、325本ということから、

過去最高を記録すると思います。非常に石川県の認知度が、全国的に高まってきていると認識をしています。これほど放映されると、全国の人は、それじゃあ石川県へ、金沢へ足を運んでみようとなるのは、自然の流れだと思います。これは、私どもがこれまで地域資源の魅力開発に磨きをかける努力をしてきたことの証ではないかと思います。JR東日本が、新幹線開業前に首都圏で流した、北陸新幹線のテレビCMのキャッチコピーでは、「行きたかった、あの日本へ」でした。当時、私どもは、ちょっと大げさではないかという思いもありましたが、決して大げさではなく、それは極めて正しい表現であったということが、今、確認できます。

そうであるならば、「行きたかった、あの日本へ」を思わせるような魅力づけを、更にしていかなければならない訳です。そのような事から、金沢港のクルーズターミナルも、装いを新たにしている整備を進めています。鼠多門や鼠多門橋の復元整備もしかりです。また、日本海側で初めての国立美術館といわれる、東京国立近代美術館工芸館の全面移転もその一環になります。これらが整えば、この地の魅力をさらに高め、一層の誘客を増やし開業効果を持続させることに繋がると思います。

金沢港も、日本海側を代表する港に大きく成長しつつあります。貨物の方は、コマツ（株式会社小松製作所）が金沢港に工場を作ってから爆発的に増えており、全国でも有数の、貨物取扱港になっています。クルーズの方も、昨年は47本ということで、激増しています。そこで私どもは、先般、横浜港とクルーズ誘致の協定を締結しました。横浜港は、港の歴史が160年あり、日本を代表するクルーズの拠点港として、年間170隻ものクルーズが横浜港に入っています。金沢港はまだ47隻で、どだいこれは勝負にならないわけですが、その金沢港が横浜港に勝っている部分があることを、我々は発見しました。海外の富裕層を乗せたラグジュアリー船が、横浜港は4隻しか入って来ていないのですが、金沢港はそれが既に14隻入って来ていることに、横浜港は気がついたのです。金沢港と提携すれば、横浜港はクルーズの質を高めることができるのではないかと。また、我々が横浜港と組むことによって、ローカル港湾といわれた金沢港の知名度を飛躍的に上げることができ、クルーズ船の数をさらに増やすことができる可能性があります。幸い、横浜港は太平洋側の真ん中にあり、金沢港は日本海側の真ん中にあることから、うまく手を結べば、例えば



グループと新幹線を利用した新たな旅行商品を誕生させることも可能ではないか、そんな期待が広がってくるわけです。そのような意味でさらに努力を重ねることが、印刷業界に観光関連の需要というかたちで跳ね返ってきてくれれば、印刷業界の振興発展にもつながっていくのではないかと思います。これからも引き続き、金沢港、小松空港、北陸新幹線、能登空港などさらなる活用を進めてゆき、地方創生の目標である交流人口のさらなる拡大に繋げてゆく大きなチャンスが到来していると感じています。これは県内の印刷業界にとっても、プラスの面での大きな影響を与えてくれるものと期待をしているところです。

吉田会長のお話では、素晴らしい年を予兆させる、確かそんな結論であったと記憶していますが、まさにそういう素晴らしい年になるよう、お互いに努力をすることを誓い合いたいと思います。今年一年が、印刷業界の皆さん方にとって素晴らしい一年になることを心から祈念申し上げ挨拶いたします。」

引き続き、山野金沢市長からは、「改めまして、明けましておめでとうございます。今年もお招きいただきました。心から感謝を申し上げます。」とご挨拶をいただき、次の祝辞をいただいた。(以下要約)

「去年あたりから、現在もそうですけれども、新聞やテレビを見ていても、AIやIoT、ロボットという報道に触れない日はありません。「Society 5.0」、「第四次産業革命」とも言われている時代です。既存の仕事が20年後、どれだけ残っているか、そんな報道や特集なども見られるこのごろです。

このSociety 5.0、第四次産業革命のなかで、私が最も大きな影響、大きな流れを受けるのは、誤解を恐れずに発言をさせていただきますが、この印刷業界ではないかと思っています。もちろん、いろいろな業界においても同じ傾向があります。自動車業界など、つい4、5年前まで、自動運転などという報道がほとんどなかったわけです。私はいろいろな業界を回るなかで、やはり印刷業界は、最も大きな影響を受けるであろうと思われる業界の一つだと思います。

金沢市は、今、知事よりお話しいただいたように、全体の大きなトレンドとして、いい流れで動いています。私はこんな流れのときだからこそ、次の一手をしっかりと打つ必要があるのではないかと、そんな思いでいます。そこで、金沢市は、第四次産業革命の動きを見据え



ながら、新たな産業ビジョンというものを作りました。行政が民間とコラボをしながら、また、民間の皆さんが次の手を打っていく、その環境をつくっていくためには、金沢市としてどんなことができるのか、また、しなくてはいけないのか。そのビジョンの方向性を定めさせていただきました。

有り体に言えば、私は業種変換までは考える必要はないと思いますが、業態変換というものを常に意識しながら、ときにはリスクを背負いながら、新たな業態転換に挑戦することができるか、できないか。そして、どんなふうに踏み込めるのかということが、私は、印刷業界だけではなく、これからの産業界全体において求められる、そんな時代ではないかなと考えています。そのために行政としてどんなことが、皆さんと一緒にできるのかを問われているのが、今年だというふうに思っています。

いま「今年」という表現を使いましたが、今年は金沢市政が始まって130年の節目の年でもあります。1989年、今から30年前は、金沢市政100年の時代でした。金沢市政100年のときに、昭和から平成に変わり、そして金沢市政130年のこのときに、平成から新しい元号に変わるわけです。国にとってはもちろんのこと、金沢市にとってもエポック的な年になると思っています。どうぞ、印刷業界の皆さん方にとっても、いい意味でのエポックの年になりますように、心から祈念をし、繰り返しになりますが、行政としてどんなコラボができるかということも、ご提案していただきたい。そのことも改めてお願い申し上げます。私からの新年の挨拶とさせていただきます。」

来賓のご挨拶の後、恒例となっている「鏡開き」を来賓、関連団体関係員の皆さま20名で、賑々しく行われ、乾杯の発声を福島理夫元会長が行った。乾杯に先立ち福島元会長は、「この平成30年を振り返ると混沌としながらも、大波も小波もあったように思います。そして、それぞれが何とかこの時代を生き抜いてきたという思いもあります。ここで一先ず、平成の終わりと新しい時代を迎えるにあたり、皆さまと共に祝いをしたい。」と述べ乾杯を行った。

続く、祝電の披露では、金沢商工会議所 安宅建樹会頭と全日本印刷工業組合連合会 白田真人会長の電文披露に続き、13社の社名と代表者名の紹介が行われた。暫しの懇談の後、中締め挨拶は、当初は、石川県印刷関連団体協議会の笠間史盛副会長の予定であったが、急遽、代役として堀岡昭夫常務理事による力強い三本メで平成最後の新年互礼会を終了した。(報告:事務局 西川幸洋)



◎平成31年 石川県印刷関連団体協議会 新年互礼会 ご祝電をいただいた団体・企業名

金沢商工会議所
全日本印刷工業組合連合会
FFGS グラフィックサプライ株式会社
コダック合同会社
コニカミノルタ ジャパン株式会社
株式会社小森コーポレーション
サカタインクス株式会社
株式会社桜井グラフィックシステムズ

ダイヤミック株式会社
DIC グラフィックス株式会社
東洋インキ株式会社
株式会社スクリーンホールディングス
富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社
株式会社メディアテクノロジー・ジャパン
リョービMHI グラフィックテクノロジー株式会社

第9回 ポスターグランプリ

テーマ 「知」

主催: 愛知県印刷工業組合・岐阜県印刷工業組合・三重県印刷工業組合
石川県印刷工業組合・富山県印刷工業組合・愛知県印刷協同組合

共催: 愛知県印刷産業団体連絡会・(有)つるぎ出版社

日程: 応募期間 平成30年8月21日(火)～9月8日(土) 正午必着
審査日 平成30年9月18日(火)
入賞・入選発表 平成30年9月30日(日)

作品展示日時 平成30年11月13日(火)～18日(日) 午前10時～午後6時
会場 名古屋市民ギャラリー栄 展示室6・7・8(名古屋市中区役所ビル8階)

入賞者表彰式 平成30年11月18日(日) 午前10時30分～11時30分
会場 東海テレビピアビル14階

優秀賞



石川県知事賞
山口 竣輔さん

特別賞



石川県印刷工業組合理事長賞
安川 千華さん

●審査結果(石川県に關係する賞のみ)敬称略

■優秀賞

大学生・専門学校生の部

石川県知事賞

山口 竣輔

(金城学院大学3年)

■特別賞

石川県印刷工業組合理事長賞

安川 千華

(ワイピービズイングループ(株))

■協賛会社賞

東京インキ株式会社賞

越野 瑚舶

(金城大学短期大学部2年)

大阪印刷インキ中部販売株式会社賞

小野寺 結

(金城学院大学3年)

石川県洋紙会賞

角屋 葵

(大原情報デザインアート専門学校 金沢校1年)

■入選

川本あや乃 (ヨシダ印刷(株))

能村真由美 (ヨシダ印刷(株))

内田 美香 (石川県立工業高等学校3年)

西山 明希 (金城学院大学3年)

山本明日香 (金城学院大学3年)

吉川 未来 (金城学院大学3年)

三宮かれん (金城大学短期大学部 2年)

道下 夏未

(大原情報デザインアート専門学校金沢校1年)

夷藤 有香

(大原情報デザインアート専門学校金沢校1年)

堀井 亮祐

(大原情報デザインアート専門学校金沢校1年)



協賛会社賞
越野 瑚舶さん



協賛会社賞
小野寺 結さん



協賛会社賞
角屋 葵さん

応募状況

総数: 395点、一般の部93点、大学・専門学校部の部207点、高校生の部95点
(愛知県253点、岐阜県37点、三重県49点、石川県49点、富山県7点)

石川県からの応募団体名

金城学院大学、金城大学短期大学部、大原デザインアート専門学校金沢校、北陸デザイナー専門学校
石川県立工業高等学校、(株)笠間製本印刷、ヨシダ印刷(株)、ワイピービズイングループ(株)、以上

中部地区 印刷協議会

平成30年度 下期会議開催

日 時：平成31年2月8日（金）午後1時より
場 所：キャスルプラザ（愛知県名古屋市）
対象工組：愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県
（中部5県の印刷工業組合）

石川県工組からの出席者

吉田理事長、出村副理事長、大村副理事長、安達副理事長
木村副理事長、田上常務理事、山越常務理事、西川事務局長

中部地区印刷協議会は、毎年、上期（6月上旬）と下期（2月上旬）に実施され、全日本印刷工業組合連合会の事業方針の周知と中部5県の印刷工業組合の情報交換と人的な交流を行う場である。

本年の下期会議では、主に次のテーマについて発表がなされ、各分科会でも活発な討議が行われた。



石川県工組の出席者

全体会議

1、印刷用紙値上げへの対応

製紙メーカー別の値上げ状況の発表と全印工連が行っている値上げ反対活動の報告

2、クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンスへの参加

地球規模の海洋プラスチックごみ問題の解決に向け、生分解性に優れた材料や紙等の代替素材の開発と普及の促進の取り組みの報告

3、幸せな働き方改革 STEP3について

全印工連が推進する「幸せな働き方改革STEP3 業務改革」の取り組みの提案

4、大喜利印刷からの提案

“欲しい”×印刷業のアイデア&技術=つづやきから、印刷廃材が新たなプロダクトに大変身！

5、2019全印工連フォーラム開催の案内

開催日：2019年10月4日（金）／場所：ホテル日航大阪



全印工連 白田真人会長

分科会・理事長会

① 経営革新・マーケティング分科会

実績も出てきている事業承継支援センターの相談及び活用の促進について

② 環境・労務分科会

働き方改革や労働法と労働基準法改正案の対策セミナーの実施
グリーンプリンティング工場認定、環境推進工場登録の促進とVOC警報機の普及推進

③ 組織・共済分科会

組合員台帳調査の提出状況の報告と次年度の共済加入推進キャンペーン工組の発表（岐阜、石川）

④ 教育・研修分科会

「技能検定 プリプレス職種DTP作業」の受検促進及びアドビ「特別ライセンスプログラム」の利用の拡大について

⑤ 取引公正化分科会

受注者側に知的財産権を帰属させるコンテンツ版バイ・ドール契約の普及促進

⑥ 理事長会

第10回ポスターグランプリの募集テーマは、「輪」。作品応募の促進等について

VOC警報機導入補助金のお知らせ

VOC警報器を設置して、より安全で健康的な職場環境を印刷オペレーターに提供しましょう。

オフセット印刷工場用のVOC警報機は発売以来全印工連の会員企業には定価48,000円の所、特別価格25,000円(税別)で販売されていますが、石川県工組として独自の導入補助金を支給することと致しました。

平成31年4月まで導入された企業様に1台につき3,000円の補助金をお出しします。

印刷工場で働く方々の健康維持管理をさらに向上していただくために、また労働基準監督署など社外の方が工場を見られた場合でのPR効果も期待できます。ぜひご検討ご導入されることをお勧めいたします。(なお、導入企業は日印産連のHPに記載されています。)

詳しくは環境・労務委員長安達正人(安達写真印刷 TEL:076-274-8288)もしくは事務局までお問い合わせください。

【国家検定】

オフセット印刷技能検定

【平成30年度(前期)技能検定 印刷職種 オフセット印刷作業】

■「実技試験」の実施

日 時:平成30年6月25日(月)~27日(水)

場 所:石川県印刷会館 平版印刷研修室

1級4名、2級6名が受検する

■「オフセット印刷技術研修会」の開催

日 時:平成30年7月13日(金)~14日(土)

場 所:石川県印刷会館 2階会議室

講 師:チョウ・ウヒョン氏

(日本プリンティングアカデミー校長代理)

参加者:13社22名(内 組合員外1社1名)

■「学科試験」の実施

日 時:平成30年8月26日(日)

場 所:石川県地場産業振興センター本館

■結果発表

日 時:平成30年9月28日(金)

場 所:石川県商工労働部企画課

◎1級合格者4名 ◎2級合格者8名

【国家検定】DTP技能検定試験

【平成30年度(後期)技能検定 プリプレス職種 DTP作業】

今年度は、Mac OSと合わせWindowsにも対応した実技試験を実施する

■「DTP技能研修会」開催

日 時:平成30年12月19日(水)

場 所:野々市市「交遊舎」会議室

講 師:相馬謙一氏(全印工連特別顧問)

参加者:13社22名(内 組合員外1社1名)

■「実技試験」の実施

日 時:平成31年1月20日(日)

場 所:株式会社山越製本印刷 [Windows]

(株)山越、ヨシダ印刷(株) [Mac OS]

受検者:1級12名、2級4名(内 Windows 1級4名、2級1名)

■「学科試験」の実施

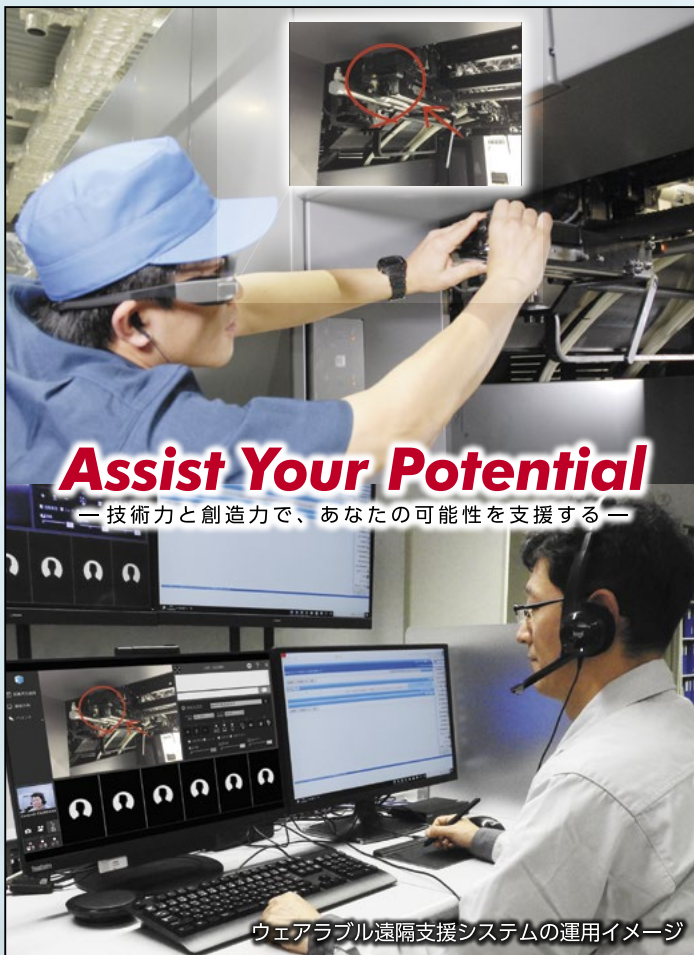
日 時:平成31年2月10日(日)

場 所:石川県地場産業振興センター本館

■結果発表

日 時:平成31年3月15日(金)

場 所:石川県商工労働部企画課 ◎1級合格者4名



Assist Your Potential

— 技術力と創造力で、あなたの可能性を支援する —

ウェアラブル遠隔支援システムの運用イメージ

印刷会社

RMGT
サービス
コントロール
センター



同じ画面を共有して問題解決

原因を早期特定

+

対策を早期実施

日ごとに厳しさを増す短納期ニーズに応える、印刷の現場。ウェアラブル遠隔支援システムは、スマートグラス*を通して、印刷機のトラブル箇所をRMGTサービスコントロールセンターから目視して、すばやく対処します。

印刷機のダウンタイムを短縮し、トラブルに直面したオペレーターの不安を軽減します。

RMGTは、技術力と創造力で人を援け、印刷会社それぞれが強みを発揮できるように、アシストしていきます。

*スマートグラスとは、カメラとディスプレイを搭載してインターネットに繋がったメガネ型のウェアラブルコンピュータ。

RMGT リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

中日本支社 〒468-0034 愛知県名古屋市長区久方1-145-1
TEL 052-807-1671 <http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

3つのE すべてのお客様に

*E*cology 環境

*E*conomy コスト

*E*asy メンテ

Thermal Green Plate SYSTEM



MADIATH / サーマルグリーンプレート
Thermal Green Plate

Thermal Digiplate SYSTEM



Thermal
Digiplate **TDP-459II**
TDP-324II



Thermal
Digiplate **TDP-750**
TDP-580

Violet Digiplate SYSTEM



VIOLET DIGIPLATE
VDP-CF3070

三菱製紙株式会社

<http://www.mpm.co.jp>

グラフィック&デベロップメント営業部 〒130-0026 東京都墨田区両国二丁目10番14号 両国シティコア ☎03(5600)1475

ダイヤミック株式会社
<http://diamic.jp>

本 社 ☎03(5600)1570 札幌支店 ☎011(281)1991 福岡支店 ☎092(281)4135 広島営業所 ☎082(567)9700
東京支店 ☎03(5600)1590 仙台支店 ☎022(296)3221 金沢営業所 ☎076(200)7002 高松営業所 ☎087(868)0801
大阪支店 ☎06(6468)7901 名古屋支店 ☎052(251)9741 京都営業所 ☎075(315)1400 鹿児島営業所 ☎092(281)4135



Visible Science for Life

私たち東洋インキグループの製品は人々の暮らしの中にあふれています。

私たち東洋インキグループは「目に見える科学」で人々の生活に貢献いたします。

TOYO INK 東洋インキ株式会社 関西支社 北陸営業部

〒920-0849 石川県金沢市堀川新町 2-1 井門金沢ビル 3 階 Tel: 076-232-6231 Fax: 076-232-6230

〒930-0814 富山県富山市下富居 1-5-1

Tel: 076-432-7511 Fax: 076-441-2074

www.toyoink.jp

第22回 ソフトボール大会

平成最後のソフトボール大会は台風20号の影響を前日まで受けながら第22回が開催された。当日の天候は予報が外れ最高気温35度を超す猛暑日のなか11社17チームで熱戦が行われた。会場は金沢専光寺ソフトボール場、朝7時30分開会式が行われ吉田理事長が開会挨拶、始球式後2会場に分かれ試合が行われ第1球場からは高桑美術印刷A、第2球場からは金沢シルBチームが勝ちあがり決勝戦が行われた。両チームとも優勝をめざし白熱した試合が行われたが、高桑美術Aチームが打線で打ち勝ち、平成最後の優勝を手にした。



第27回

印刷の月 ゴルフ大会



日時：平成30年9月1日(土) スタート7時35分
 場所：能登カントリークラブ(日本海コース、はまなすコース)
 主催：石川県印刷関連団体協議会
 参加者：8組30名

上位成績

優勝	永澤克司氏	富士ゼロックス北陸(株)	Net 71.4
準優勝	田中 泰氏	田中昭文堂印刷(株)	Net 72.2
3位	山下義幸氏	東洋インキ(株)	Net 72.6
4位	巽 秀嗣氏	富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ(株)	Net 72.6
5位	橋本修一氏	(株)橋本清文堂	Net 74.0

「印刷会館」

日時：平成30年11月24日(土)
 場所：石川県印刷会館 2階会議室 参加人数：20名

感謝のつどい&チャリティー

永年にわたり石川県印刷工業組合の事務局として、また組合の集いの場としてお世話になった「石川県印刷会館」の立て直しに際し、最後に感謝の気持ちを込めて開催された。

「感謝のつどい」では会館の壁(縦2.7m 横5m)に石川県書美術連盟理事の書家阿部豊寿さんによる揮毫。今後の印刷業界の明るい未来に羽ばたいて欲しいとの願いを込めて「翔」の字が記された。続いて組合員も各々の感謝の想いを壁面に記した。その後、会館で使用した備品チャリティーが行われ、最後に餅つき大会を行い建替え前の最後の組合行事が終了した。今回のチャリティー収益金¥55,000-は「北國愛のほほえみ基金」に寄付した。



新築工事の地鎮祭



平成31年3月19日(火)
 晴天のもと10時より石川県印刷会館新築工事の地鎮祭が執り行われた。



刈初めの儀(鎌入れ)
 : 理事長 吉田克也



穿初めの儀(鎌入れ)
 : 副理事長 木村賢一郎

INFORMATION

会員短信

□代表者変更

金沢支部 産業印刷(株) 代表取締役社長 荒川幸司
 (平成30年12月18日)

事務局日記

- 一平成30年一
- 11月30日(金) 事務局が仮事務所(ヨシダ印刷(株)内)に移転
- 一平成31年一
- 1月5日(土) 石川県印刷関連団体協議会 平成31年新年互礼会
 ホテル日航金沢
- 1月12日(土) 平成31年新年理事会(平成30年度第5回)
 金沢東山松魚亭
- 1月20日(日) DTP技能検定実技試験
 (株)笠間製本印刷、(株)山越、ヨシダ印刷(株)
- 2月8日(金) 中部地区印刷協議会 平成30年度下期会議
 キャッスルプラザ(名古屋)
- 3月11日(月) 「働き方改革」対策セミナー
 野々市市交遊舎
- 3月19日(火) 新石川県印刷会館建設「地鎮祭」
 金沢市玉鉾4丁目160番
- 3月26日(火) 平成30年度第6回理事会
 安達写真印刷(株)会議室

■お悔み ~謹んでご冥福をお祈り申し上げます~

- 松田フジ子様(小松支部)
- まつだ印刷 小松市上小松町丙116-1
 代表者のご母堂 平成30年9月10日ご逝去 96歳
 森元幹男様(金沢支部)
- いづみ印刷 金沢市長土堀3-24-20
 代表者のご尊父 平成30年11月5日ご逝去 86歳
 伊藤ふみ子様(金沢支部)
- 伊藤印刷 金沢市玉鉾2-392
 代表者のご母堂 平成30年12月30日ご逝去 94歳
 千田玉子様(金沢支部)
- 産業印刷(株) 白山市一塚町787-1
 前社長のご母堂 平成30年12月29日ご逝去 87歳

今後の予定

- 4月4日(木) 「新入社員研修会」
 金沢市ものづくり会館2階研修室
- 4月23日(火) 平成30年度第7回理事会
 安達写真印刷(株)会議室
- 5月18日(土) 2019年通常総会
 粟津温泉のとや
- 6月14日(金) 中部地区印刷協議会 2019年上期会議(岐阜県会議)
 岐阜グランドホテル

SEARCH

http://www.ishikawa-pia.jp / E-mail : info@ishikawaken-pia.or.jp

GO